

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キララこども園（保育所等訪問支援）		
○保護者評価実施期間	R8年1月9日		R8年1月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	R8年1月9日		R8年1月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	R8年1月9日		R8年2月19日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	5	(回答数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人内に相談支援専門員がおり、児発、放デイの事業所、認可の小規模保育園があり、幅広い知識や様々な視点からの助言があること。	<ul style="list-style-type: none"> ・児発や放デイ、小規模保育園を利用している（していた）児が多いので、これまでの経験や特性等の情報を聞いたり、現在の課題等について共有したりしている。 ・法人内の様々な役職の職員から専門的な意見を聞くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の機会を設け、専門性をより高める。 ・様々な視点の意見を取り入れ、支援に活かしていく。
2	法人内の児発から民間の保育園や幼稚園、小学校に移行する場合、長期的に子どもの様子や発達を把握し、訪問先施設での支援に繋がれること。	<ul style="list-style-type: none"> ・今の状況だけでなく、これまでの経験や本児の特性や興味のあること等、訪問先施設と情報を共有している。 ・法人内の児発や放デイにも通っている児童に関しては、訪問先施設での状況を踏まえた支援を行えるようにしている。（個別学習等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象児の経験や特性、得意なこと、好きなこと、苦手なこと等を共有し、訪問先施設の支援に繋がるようにする。
3	1人の訪問支援員が継続して支援に当たること。	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園から小学校への進学、保育園・幼稚園での進級があっても同じ訪問支援員が支援を行うことで、継続した支援が行える。 ・前年度の児の状況や支援方法、成長等を共有し、その年の支援方法等を検討することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児にかかわる事業所の職員や相談支援専門員等、訪問先施設の先生方と話す機会を設けていき、児にとってよりよい環境作りができるよう努めたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	基本的に訪問支援員が1名のため、支援の方法や視点、対応に偏りが生じる可能性があること。	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援員が1名である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多角的な見方ができるよう、支援の内容やアプローチの仕方等を児童発達管理責任者や法人内の職員と相談、検討を行う。
2	対象児や訪問先施設によっては、保護者と直接会う機会が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問記録は共有している。法人内の児発に通っている保護者とは送迎の際に話すことはあるが、直接会えない保護者はいる。 ・保護者からの希望がある時には、必要に応じて相談支援専門員や児童発達管理責任者等同席し、面談の機会を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の意向や希望を把握することに努め、必要に応じて面談の機会や情報の提供、共有を行っていく。
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	キララこども園（保育所等訪問支援）
------	-------------------

公表日 R8年3月1日

利用児童数 3

回収数 3

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	1		2		・教材等は訪問先に確認し、訪問先にあるものを使用しています。訪問先と相談し、教材の提案等をすることはありません。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	2		1		・キララこども園に相談室があります。面談等に関してはプライバシーに配慮した場所で行います。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	3				
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	3				・子どもの状況や保護者の希望、訪問先施設の方針等を考慮し、日程等を決めていけるように努めています。
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	3				
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3				
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	3				
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2			1	
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3				
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	2			1	・訪問先の方針や希望等を確認しながら、支援を行うよう努めています。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3				・契約時に児童発達管理責任者が説明しております。分からないことは随時、お尋ねください。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	1			2	・キララこども園では療育参観や研修会等を行っています。児童発達支援や放課後等デイサービスをご利用の方にご案内を行っております。
	15 必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	3				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3				・随時ご相談等は受け付けておりますので、お声かけください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3				
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3				・ご相談があった時には児発管や相談支援専門員、訪問支援員等で共有し、迅速に対応するよう努めています。
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3				
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	3				

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	3				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	3				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1		2		<ul style="list-style-type: none"> 自己評価の結果はHPに掲載しています。 児発に関してはSNSで活動について発信していますが、保育所等訪問支援に関しては行っていません。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	3				
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3				
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	2	1			<ul style="list-style-type: none"> 訪問支援の性質上、月に1～5回の訪問なので、いつもの生活の中に訪問支援員が入ることに抵抗があるお子さまもいるかもしれません。集団生活に適應できるように支援を行うことが目的なので、その目的を先生方と共有し、支援方法を検討しながら訪問支援を行っていきたいと思います。
	28	事業所の支援に満足していますか。	3				

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日			R8年3月1日
キララこども園（保育所等訪問支援）		利用児童数			5名 回収数 5
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	5			<ul style="list-style-type: none"> ・すぐに実行できることが多かったため、分かりやすく、取り入れやすかったです。 ・見通しがもてるように模型（時計）を使ったりしています。数字に興味もあり、読むことができるので、次の活動に移りやすくなりました。 ・本児も教師も互いに気持ちよく生活できるよう助言をいただき有難いです。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ・保育者側も支援に対して気づかなかったり、疑問に思ったこと、課題や困りごとに対してその都度アドバイスや回答を頂くことができたので、満足しています。 ・細やかな目線で観察してくれているので、今まで気づかなかったことに気づくことができました。問題行動が起きたときにどのような関わり方をすれば良いのか実践してほしいです。 ・本児の言動について適切に対応し、本児が納得できています。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	5			<ul style="list-style-type: none"> ・相談しやすく、情報も共有できるので、助かっています。 ・保育者側も支援に対して気づかなかったり、疑問に思ったこと、課題や困りごとに対してその都度アドバイスや回答を頂くことができました。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	5			<ul style="list-style-type: none"> ・成長に合わせて困り事も変わってくるので、定期的に訪問してもらえるのは課題を見つけやすいです。 ・本児に対して上手にアプローチして下さることや本児の困り感を探りつつ、助けていただいていることに感謝しています。 ・保育者側も支援に対して気づかなかったり、疑問に思ったこと、課題や困りごとに対してその都度アドバイスや回答を頂くことができました。 ・本児についての情報交換の機会をいただき、指導に生かすことができました。
5	事業所からの支援に満足していますか。	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ・情報を共有したり、行事の際、支援のお手伝いを頂けたので、助かりました。 ・保護者とは送迎時の短時間でのやり取りになってしまうので、観察の記録票が保護者に渡っているのは助かっています。
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・保育を観察・見守る日と、参加型の日があると良い。直接的な声かけや関わり方を見て学びたい。 ・生涯にわたって子どもに関わる親のサポートはとても大切。園と事業所は子どもとその親の生き方に提案したり、サポートできる関係をつくれたらと思う。 ・いつも大変お世話になっております。来年度も引き続き、ご支援いただくと助かります。よろしく願いいたします。 				<ul style="list-style-type: none"> ・保育園や幼稚園、小学校での子どもたちの状況や特性、家庭からの希望等を考慮し、子どもにとってよりよい環境を作っていけるよう訪問支援を行っています。あわせて、訪問先施設の方針、要望に合わせた支援方法を一緒に検討していきたいと考えておりますので、いつでも訪問支援員へご相談、ご要望をお話ください。 ・訪問支援員が訪問するのは月に1～5回なので、その日に解決することは難しかったり、その場限りになってしまうことがあるかもしれません。今後もご相談や困りごと等があった際には具体的な方法を提案したり、一緒に考えていけるよう努めていきます。 ・保護者や訪問先施設の先生方、児発や放デイの職員、相談支援専門員、訪問支援員等で話し合い、子どもたちにとってよりよい環境を作っていきたいと考えております。 	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キララこども園（保育所等訪問支援）		公表日 R8年3月1日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点	課題や改善すべき点
環境 制・ 整 運 備 營	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		・訪問先施設や対象児童に合わせて、訪問先施設の先生と相談しながら使用しています。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・常勤の職員を配置し、資格を有する者が訪問を行っています。	
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・必要に応じて、児発や放デイ職員、児発管や相談支援専門員等と話し合いを行っています。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・現在、行っていません。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・外部の研修や法人内での研修に積極的に参加しています。	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		・こども園や訪問先の職員、保護者への聞き取りや訪問先の見学、相談支援専門員の話の聞いたり、サービス計画を参考にアセスメントを行い、支援計画を作成しています。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		・事前に打ち合わせ等を行い、訪問先施設の意向や方針等を確認しています。 ・保護者の希望と訪問先施設の意向にずれが生じる場合には必要に応じて話し合いを設けていきたいと考えています。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・行動観察や周囲の大人（保護者、相談支援専門員、児発や放デイ職員、訪問先施設職員等）への聞き取りが多く、インフォーマルなアセスメントが中心になっています。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・活動内容や訪問先施設の意向等は児童発達管理責任者等と共有し、支援にあたっています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・訪問記録を作成するとともに、児童発達管理責任者等に気づいた点や課題等を共有しています。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		・訪問先施設の方針は事前の打ち合わせで把握しきれないことも多いので、訪問した時や支援を行っている時に確認しながら支援を行っています。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		・毎回、訪問記録を作成し、次回の訪問支援に活かせるようにしています。	
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・保護者の意向や訪問先の意向を定期的に確認したいとは考えていますが、訪問支援という性質上、保護者よりも訪問先の意向が中心になっている場合もあると感じています。集団生活に適應する力をつけていけるような支援ができるように適切な見直しを行っています。		
関 係 機 関 や 保 護 者	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達管理責任者や訪問支援員が参加し、現状や課題、方向性を確認しています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・必要に応じて関係機関と連絡をとっています。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	・訪問支援員が就学先に情報共有を行うことはほぼありません。 ・訪問先施設や利用している事業所に支援内容等を伝え、就学先に共有しています。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・外部の研修に参加しています。継続してスキルアップに努めます。	

目 の 連 携	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		・児童発達管理責任者や訪問支援員が参加しています。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・家庭によって頻度や報告方法が異なりますが、状況や課題を共有できるよう努めています。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	・保育所等訪問支援としては行ってはいませんが、キララ子ども園では行っています。
保 護 者 等 へ の 説 明 等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に児童発達管理責任者が説明を行っております。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		・児童発達管理責任者や相談支援専門員、訪問支援員等が訪問し、保育所等訪問支援の内容や目的等を理解していただけるように努めています。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・面談や相談支援専門員と情報交換を行い、こどもや保護者の希望や意向を確認し、計画に盛り込んでいます。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしている		○	・保育所等訪問支援は幼稚園・保育園・小学校に在籍している児なので、その予定はありません。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・児発・放デイ職員、児童発達管理責任者や相談支援専門員等、事業所内で関係職員と相談し、対応しています。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	・キララ子ども園では月に1回園だよりを発行しています。 ・事業所のHPで自己評価表等を公表しています。
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・児童票、訪問記録等はファイルに入れて鍵付きの棚で管理しています。	
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・こどもや保護者の思いを受容した上で、内容によっては具体例等を出しながら分かりやすく伝えていきます。	
訪 問 先 施 設 へ の 説 明 等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		・訪問時に相談等に応じています。また、内容によっては関係機関や相談支援専門員と連携し、助言等を行っています。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		・訪問先施設の状況に合わせてカンファレンスや情報共有を行っています。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		・各家庭に合わせて、支援内容の報告を行っています。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・情報の使用等については随時ご家族に確認をとっています。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		・対象児や訪問先施設に合わせた助言になるよう心掛けています。
非 常 時 等 の 対 応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・事業所で作成しています。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・事業所で作成しています。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・事案があった場合は児のかかわる事業所で共有し、再発防止に努めています。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・事業所内や外部の研修等で適切な対応について学ぶ機会を設けています。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○	・現在、行っていません。